

令和元年度 消防長「政策宣言」達成状況

消防長 五十嵐 晃

○ 令和元年度重要事業

事業名	防火対策の推進
目 標	<p>昨年は、事業所からの火災が多発したことから予防査察や立ち入り検査を強化するとともに消防訓練を行うことで火災予防に努めます。</p> <p>また、住宅用火災警報器の設置義務化から10年を経過していることから電池切れに関する啓発を継続的に行い、消防関係団体と連携して未設置世帯への設置促進に努めます。</p>
年 度 未 達 成 状 況	<p>射水市の令和元年度の火災件数は、昨年に比べ若干減少し、住宅用火災警報器の設置率も84.9%で昨年より3.9%上昇しました。</p>
自 己 評 価	<p>一般住宅からの火災は減少しましたが、昨年に引き続き事業所からの火災が多発していることから施設の維持管理について指導し、一般住宅の住宅用火災警報器設置促進に加えて正しい設置指導を行います。</p>

事業名	救急救命体制の充実
目 標	<p>救急業務の更なる充実のため、高度救命処置用資機材の計画的な整備を行い、救急医療体制の充実を図ります。</p> <p>加えて、救急救命士再教育計画に基づき、隊員の教育訓練の充実を図るとともに、消防本部全体でのシミュレーション演習を行い、技術及び知識の向上に努めます。</p> <p>また、ドクターヘリランデブーポイントの消防本部グラウンドを舗装化して迅速な引き渡しを行うなど搬送医療機関との一層の連携による救急搬送体制の強化を図り、円滑な受け入れ態勢の構築に努めます。</p>
年 度 未 達 成 状 況	<p>救命士を1名採用し、現職員1名の救命士養成を行いました。</p> <p>また、若年救命士を中心に基礎実技に重点を置いたシミュレーション訓練を行うとともに、病院と救急勉強会を開催し、知識と技能の向上を図りました。</p>
自 己 評 価	<p>計画的に救命士の採用と養成及び感染防止マニュアル等の整備を行い、消防職員全体に安全・確実な救急救命活動を行うよう意識付けを行うことが出来ました。</p> <p>また、救命講習時等に救急車の適正利用を呼び掛けることにより、救急件数の減少に努めました。</p>

事業名	災害対応力の強化
-----	----------

<p>目 標</p>	<p>消防団、自主防災組織と連携しながら大規模災害発生時に迅速かつ的確な対応が取れるよう消防体制の充実強化に向け、実践的な訓練や研修を行い、職員の育成にも取り組みます。</p> <p>また、消防団員の確保については、入団促進用ポスターを作成し、若年層の加入を促進するとともに消防団活動の環境向上にも努めます。</p>
<p>年 度 末 達 成 状 況</p>	<p>本江分団屯所の大規模改修工事と作道分団屯所の新築工事実施設計を行い、常備消防と大門、下分団の消防ポンプ自動車の更新を行いました。また、消防本部グラウンドの全面アスファルト施工を行いました。</p>
<p>自 己 評 価</p>	<p>屯所改修等と車両更新を実施し、加えて念願であったグラウンドの改修を行うことができました。今後も消防団、自主防災組織と連携し、災害対応力の強化に努めます。</p>